

## 添付文書改訂のお知らせ

# ハイ・プレアミン<sup>®</sup>注-10%    ハイ・プレアミン<sup>®</sup>S注-10% ラクトリンゲル液「フソー」    リプラス<sup>®</sup>1号輸液 リンゲル液「フソー」

このたび下記の輸液製剤につきまして、輸液セットの滴数規格の統一化に伴い、添付文書を改訂いたしますので、お知らせ申し上げます。

平成21年5月



**扶桑薬品工業株式会社**  
大阪市城東区森之宮二丁目3番11号

### 記

#### 1. 改訂の経緯

平成17年3月25日付厚生労働省告示第112号及び平成17年11月24日付薬食発第1124002号医薬食品局長通知により、平成21年4月1日以降は輸液セットの滴数1mLあたり20滴及び60滴に統一されることになりました。

輸液セットの滴数規格の統一化に伴い、下記製品の添付文書に記載していた1分間あたりの滴数表示（1分間約〇～〇滴）が変わることから、これらの文言を添付文書から削除いたします。

#### 2. 該当品目

製品名	規格
①ハイ・プレアミン注-10%	200mL
②ハイ・プレアミンS注-10%	200mL
③ラクトリンゲル液「フソー」	200mL、500mL、1000mL
④リプラス1号輸液	200mL、500mL、1000mL
⑤リンゲル液「フソー」（日本薬局方 リンゲル液）	500mL

### 3. 改訂箇所

下記のとおり、【用法・用量】の記載を改訂します。

#### 【用法・用量】

・改訂内容

改 訂 後	改 訂 前
<p><b>①ハイ・プレアミン注－１０％</b></p> <p>通常成人 1 回 20～500mL を緩徐に静注又は点滴静注する。投与速度は、アミノ酸の量として 60 分間に 10g 前後が体内利用に望ましく通常成人 200mL あたり 80～100 分を基準とし、小児、老人、重篤な患者にはさらに緩徐に注入する。</p> <p>なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。</p> <p>生体のアミノ酸利用効率上、糖類輸液剤と同時投与することが望ましい。</p>	<p><b>①ハイ・プレアミン注－１０％</b></p> <p>通常成人 1 回 20～500mL を緩徐に静注又は点滴静注する。投与速度は、アミノ酸の量として 60 分間に 10g 前後が体内利用に望ましく通常成人 200mL あたり 80～100 分 <u>(1 分間約 40～30 滴)</u> を基準とし、小児、老人、重篤な患者にはさらに緩徐に注入する。</p> <p>なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。</p> <p>生体のアミノ酸利用効率上、糖類輸液剤と同時投与することが望ましい。</p>
<p><b>②ハイ・プレアミンS注－１０％</b></p> <p>通常成人 1 回 20～500mL を緩徐に静注又は点滴静注する。投与速度は、アミノ酸の量として 60 分間に 10g 前後が体内利用に望ましく通常成人 200mL あたり 80～100 分を基準とし、小児、老人、重篤な患者にはさらに緩徐に注入する。</p> <p>なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。</p> <p>ただし、1 日量は D-ソルビトールとして 100g までとする。</p>	<p><b>②ハイ・プレアミンS注－１０％</b></p> <p>通常成人 1 回 20～500mL を緩徐に静注又は点滴静注する。投与速度は、アミノ酸の量として 60 分間に 10g 前後が体内利用に望ましく通常成人 200mL あたり 80～100 分 <u>(1 分間約 40～30 滴)</u> を基準とし、小児、老人、重篤な患者にはさらに緩徐に注入する。</p> <p>なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。</p> <p>ただし、1 日量は D-ソルビトールとして 100g までとする。</p>
<p><b>③ラクトリンゲル液”フソー”</b></p> <p>通常成人、1 回 500～1,000mL を点滴静注する。投与速度は通常成人 1 時間あたり 300～500mL とする。</p> <p>なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。</p>	<p><b>③ラクトリンゲル液”フソー”</b></p> <p>通常成人、1 回 500～1,000mL を点滴静注する。投与速度は通常成人 1 時間あたり 300～500mL <u>(1 分間約 80～130 滴)</u> とする。</p> <p>なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。</p>
<p><b>④リプラス 1 号輸液</b></p> <p>通常成人 1 回 500～1,000mL を点滴静注する。投与速度は通常成人 1 時間あたり 300～500mL、小児の場合、1 時間あたり 50～100mL とする。</p> <p>なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。</p>	<p><b>④リプラス 1 号輸液</b></p> <p>通常成人 1 回 500～1,000mL を点滴静注する。投与速度は通常成人 1 時間あたり 300～500mL <u>(1 分間約 80～130 滴)</u>、小児の場合、1 時間あたり 50～100mL とする。</p> <p>なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。</p>
<p><b>⑤リンゲル液「フソー」</b></p> <p>通常成人1回500～1,000mLを点滴静注する。投与速度は、通常成人1時間あたり300～500mL とする。</p> <p>なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。</p>	<p><b>⑤リンゲル液「フソー」</b></p> <p>通常成人 1 回 500～1,000mL を点滴静注する。投与速度は、通常成人 1 時間あたり 300～500mL <u>(1 分間約 80～130 滴)</u> とする。</p> <p>なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。</p>

改訂後：改訂前の下線部分を削除しました。